

Ⅱ 獅子島航路の現状と課題

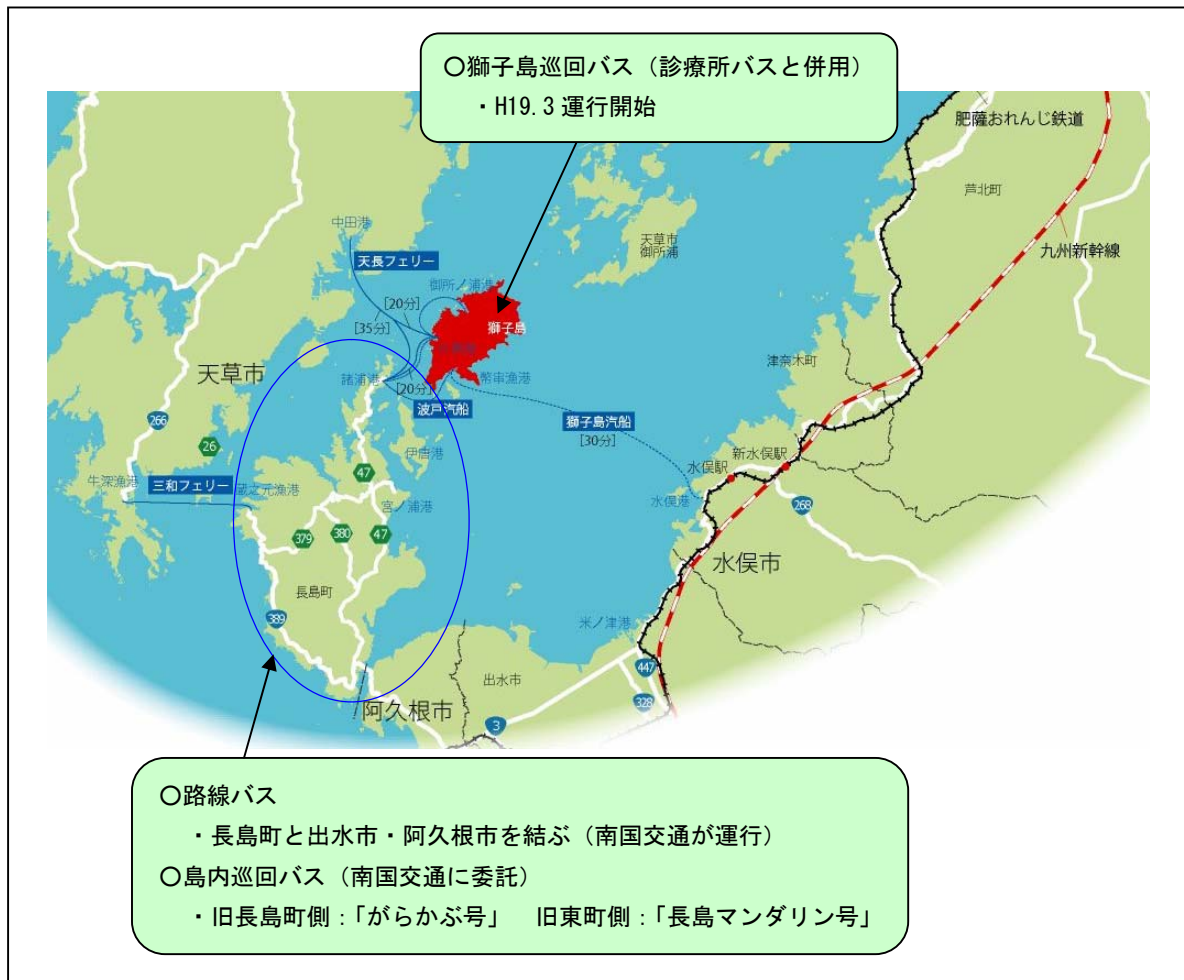
1 長島町における地域公共交通の概要と獅子島航路の位置づけ

(1) 地域公共交通の概要

海上交通については、長島町の社会経済基盤を支える重要な公共交通となっており、現在は獅子島航路と三和フェリー（長島町蔵之元漁港―天草市牛深港漁港）が定期航路として運航されている。このうち、三和フェリーは長島町と天草市のそれぞれに走る国道 389 号を海上で結んでおり、海の国道とも言われている。なお、当地域は島々を結ぶ「海上タクシー」（不定期航路、小型船舶を利用したチャーター船）が発達しており、航路の運航されていない島々や定期航路が運航されていない時間に利用されている。

一方、陸上交通については、長島本島において出水市・阿久根市市街地と島内を結ぶ路線バスと島内巡回バスが連携して運行されている。島内巡回バスは旧長島町側を「がらかぶ号」、旧東町側を「長島マンダリン号」としてそれぞれ運行（土・日・祝日運休）されている。また、獅子島島内では、平成 19 年 3 月から獅子島巡回バスが週 3 日（火・木・土曜日）運行されている。

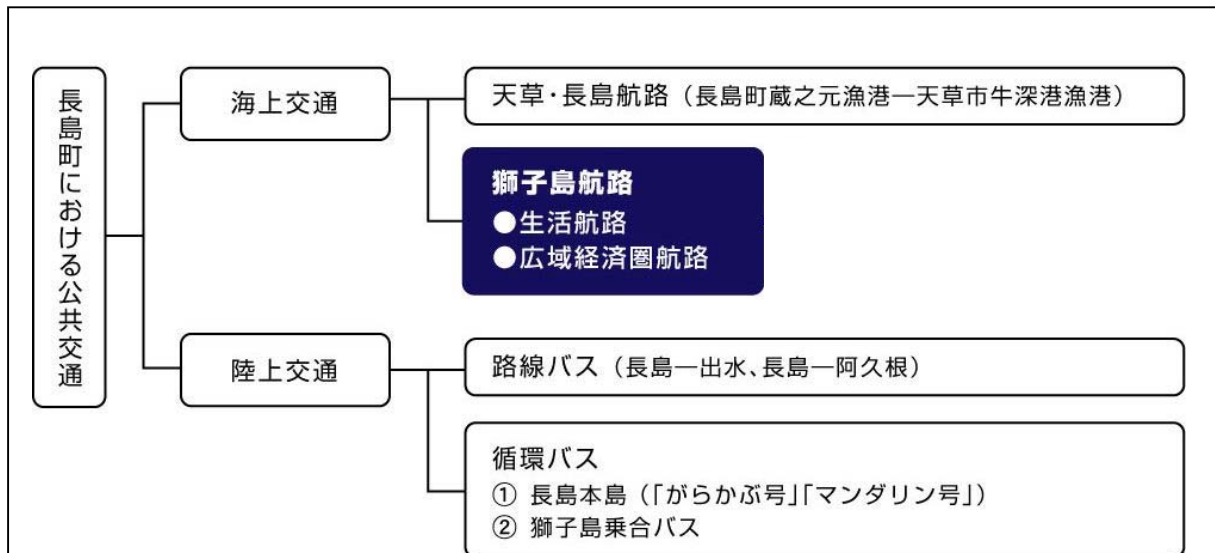
【地域公共交通（海上交通と陸上交通）の概要】



（２）獅子島航路の位置づけ

獅子島航路は獅子島住民の「生活航路」としての性格が強いが、長島町と天草市及び水俣市を結んでいるという特性から「広域経済圏航路」の役割も担っており、地域社会の再生・活性化を進めるうえで重要な航路と位置づけられる。

【長島町における地域公共交通と獅子島航路の位置づけ】



【獅子島航路の船舶】



フェリーロザリオ（長島～獅子島～天草航路）



旅客船「ししじま」（獅子島～水俣航路）



旅客船「すずかぜ」（長島～獅子島航路）

2 獅子島航路の現状とニーズ

(1) 長島～獅子島～天草航路

①航路の概況

本航路は、長島町、天草市、(有)波戸汽船が共同で出資する第3セクター、天長フェリー(株)が運航している。

使用船舶はフェリー「ロザリオ」で、諸浦港(長島)～片側港(獅子島)～中田港(天草市)の3地点を結んでいる。1日7往復で、そのうち2往復は諸浦港と中田港を直接結んでいる。所要時間は、諸浦港～片側港が20分、片側港～中田港30分、諸浦港～中田港35分。利用区間別には、「片側港～諸浦港」間の輸送実績が最大であり、獅子島と長島本島間の利用が中心となっており、島内向けの生活物資等の大半は本航路により輸送されている。

【本航路の基本的条件】

①事業主体	天長フェリー株式会社
②航路区間	諸浦港(長島) ～ 片側港(獅子島) ～ 中田港(天草市)
③航路距離	10.0km(中田港～諸浦港)
④船舶名	フェリー「ロザリオ」(自動車航送船)
⑤総トン数	330.0トン
⑥旅客定員	120名
⑦所要時間	諸浦～片側20分、片側～中田30分、諸浦～中田35分
⑧運行便数	1日7往復(うち2往復が諸浦～中田を直接結ぶ)

【航路図】

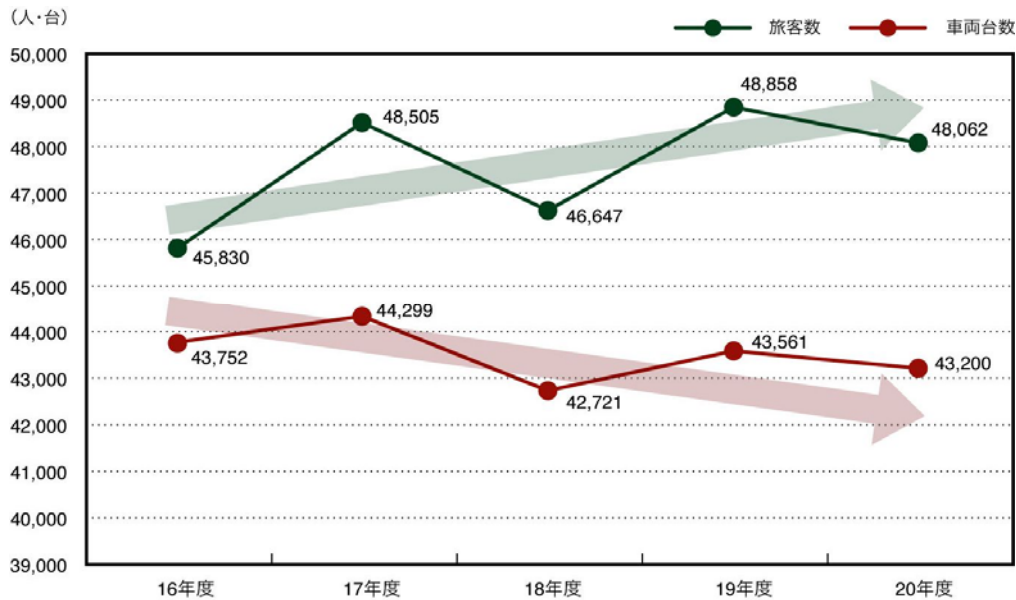


②航路の利用状況

本航路の旅客数は、平成 20 年度 48,062 人（旅客 46,892 人、団体旅客 1,123 人、定期券 47 人）で、前年比 1.6%減。車両は 43,200 台で前年比 0.8%減。過去 5 年間の推移をみると旅客数は増加傾向にあるが、車両は減少している。

航路区間別にみると、平成 20 年度の片側港－諸浦港の旅客輸送は、往路 17,249 人（航路利用者全体の 33.9%）、復路 18,275 人（同 35.9%）となり、旅客全体の 69.9%を占める。片側港－中田港は往路 2,836 人（同 5.6%）、復路 2,589 人（同 5.1%）で旅客全体の 10.7%を占める。諸浦港－中田港は往路 5,079 人（同 10.0%）、復路 2,589 人（同 9.4%）で旅客全体の 19.4%を占める。なお、片側港－諸浦港は乗用車では全体の 56.3%、トラックでは同じく 81.1%を占めている。

【航路利用の推移（旅客・車両）】



資料 天長フェリー（以下、同じ）

【航路利用の内訳】

項目 区分	数 量					
	単位	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度
旅客	人	44,742	46,873	45,718	47,961	46,892
団体旅客	人	1,082	1,607	891	852	1,123
定期券	人	6	25	38	45	47
旅客計	人	45,830	48,505	46,647	48,858	48,062
車輛	台	43,752	44,299	42,721	43,561	43,200
單車・自転車	台	1,781	1,598	1,406	1,827	1,701
小荷物	個	1,937	1,683	1,558	1,748	1,904
クーポン	台	10	14	20	11	21
	人	161	235	304	196	387
貸切船	件	15	7	8	14	10
納涼船		2	2	0	0	0

注 旅客には車両運転者は含まない

(2) 長島～獅子島航路

①航路の概況

本航路は、昭和 37 年 4 月、南国交通(株)により開設された。その後、(有)波戸汽船が本航路を譲り受け、昭和 50 年 3 月から運航している。航路開設当時は、獅子島をはじめ諸浦島・伊唐島住民にとっても利便性の高い航路で、利用者は多かった。

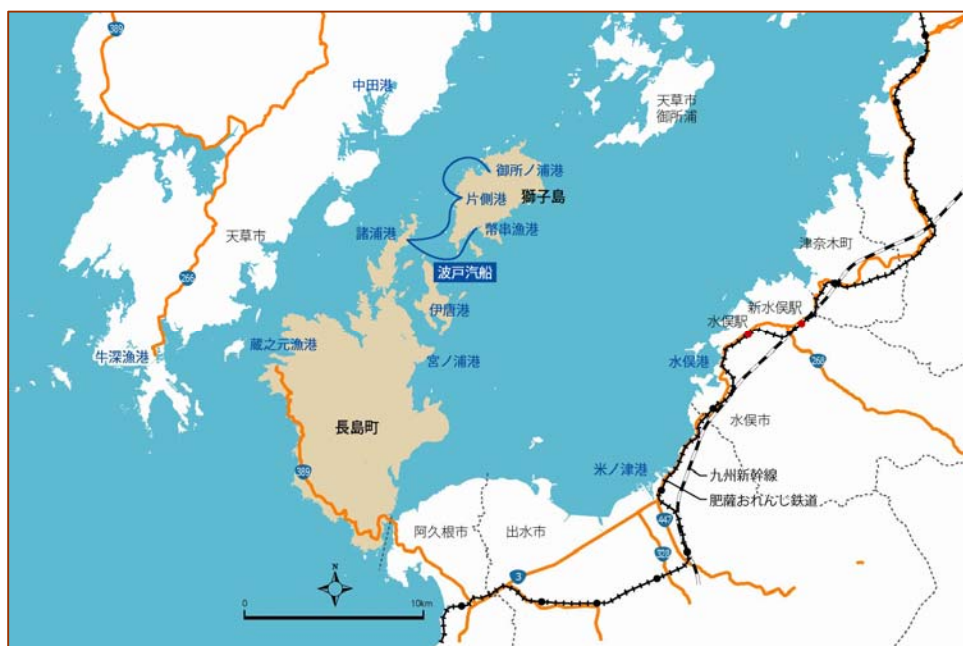
しかし、昭和 49 年 9 月に阿久根市～長島本島に「黒之瀬戸大橋」が開通、平成 8 年 8 月に長島本島～伊唐島に「伊唐大橋」が開通するなど、長島本島・伊唐島と本土との連絡陸路が整備されたことにより、長島本島・伊唐島からの利用者が減少した。さらに、「長島本島～米ノ津」間の利用者についても海上交通から陸上にシフトしたため、本航路の利用者は大幅に減少した。

平成 21 年 1 月からは、伊唐島～米ノ津の区間を廃止し、獅子島の御所ノ浦、片側、幣串の各港と諸浦港（長島）の間を朝夕 2 便運航している。航路を縮小したものの、近年の原油高騰による運航費の上昇が経営を圧迫し厳しい経営状況が続いており、本航路は県と長島町から運航費補助を受けている（負担割合：鹿児島県 75%、長島町 25%）。

【本航路の基本的条件】

①事業主体	有限会社波戸汽船
②航路区間	御所ノ浦港（獅子島） ～ 片側港（獅子島） ～ 諸浦港（諸浦島）
③船舶名	旅客船「すずかぜ 2」
④総トン数	19.0 トン
⑤旅客定員	50 名
⑥運行便数	1 日 1 往復
⑦特徴	利用客の大部分は「片側～諸浦」間の通勤客

【航路図】



②航路の利用状況

平成21年の利用者数は往路・復路合計で29,022.5人。このうち定期は20,203人で全体の69.6%を占めている。利用者の大部分は「獅子島」から「長島本島」への通勤客である。主な通勤先は瀬戸産業（ＩＣチップ等製造。京セラの下請け）やブリの加工場等となっている。

【平成21年1月～12月の利用実績】

(獅子島 ⇒ 長島)		(長島 ⇒ 獅子島)	
御所浦⇒片側	34人	諸浦⇒幣串	620.5人
御所浦⇒片側⇒諸浦	129人	幣串⇒諸浦	1,335人
片側⇒諸浦	12,504人		
	うち定期 9,340人 一般 3,164人		うち定期 702人 一般 633人
片側⇒諸浦⇒幣串	1人	諸浦⇒片側	12,522人
諸浦⇒幣串	554人		うち定期 9,640人 一般 2,882人
幣串⇒諸浦	1,223人	諸浦⇒片側⇒御所浦	99人
	うち定期 521人 一般 702人	片側⇒御所浦	1人
計	14,445人	計	14,577.5人

(3) 獅子島～水俣航路

①航路の概況

本航路は、平成 18 年 8 月に江崎汽船㈱の子会社である(有)水俣高速船が運航を廃止したため、平成 18 年 9 月から、獅子島内の海上タクシー4 事業者が共同設立した(有)獅子島汽船が運航している。

本航路は、「獅子島（幣串港）～水俣（水俣港）」間を 1 日 3 往復しており、島内から水俣方面への重要な生活航路となっている。主な利用目的は、水俣市内の病院・診療所への通院や買い物である。

本航路においても、原油高騰により運航費が上昇し、運航開始から厳しい経営状況に置かれており、平成 21 年 8 月から減便し、1 日 3 往復となっている。また、獅子島住民の重要な「生活航路」であることから長島町と水俣市による補助航路となっている（負担割合：鹿児島県 75%、長島町 21.83%、水俣市 3.17%）。

【本航路の基本的条件】

①事業主体	有限会社獅子島汽船
②航路区間	幣串港（獅子島） ～ 水俣港（水俣市）
③航路距離	18.5km（幣串港～水俣港）
④船舶名	旅客船「ししじま」
⑤総トン数	19.0 トン
⑤旅客定員	62 名
⑥所要時間	30 分
⑦運行便数	1 日 3 往復
⑧特徴	獅子島から「水俣市立総合医療センター」「岡部病院」等への通院客が多い

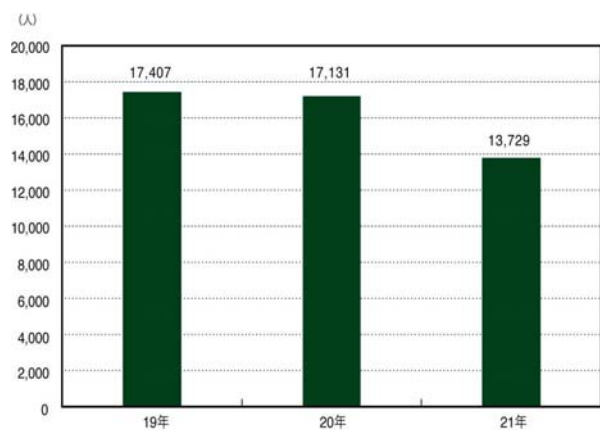
【航路図】



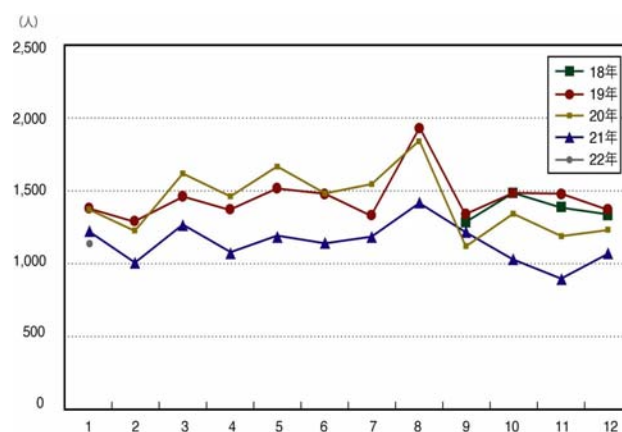
②航路の利用状況

本航路の旅客数は、初年となる平成19年は17,407人であったが、20年、21年と減少している。月別の旅客数をみると、開設当初は毎月1,500人前後で推移していたが、昨年は1,000人を下回る月がみられ、旅客数の減少が続いている。なお、8月は帰省客等の利用により輸送実績は多く、また利用者のうち、身障者が9.4%、介護者が2.9%を占め、医療・介護・福祉面において航路の果たす役割は大きい。

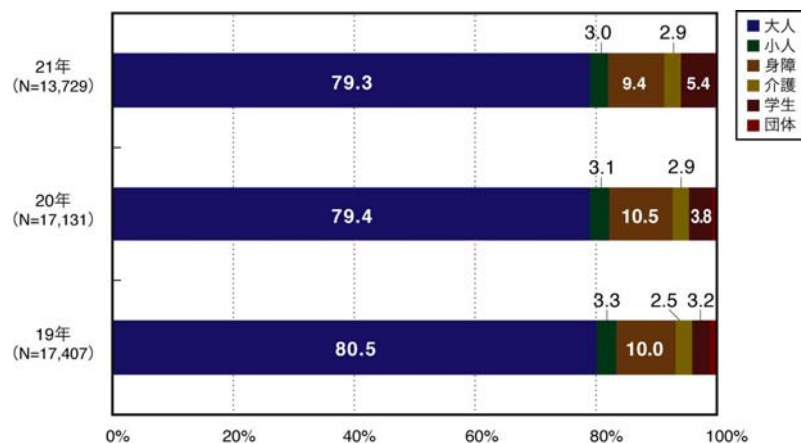
【航路利用者の推移】



【航路利用者の月別推移】



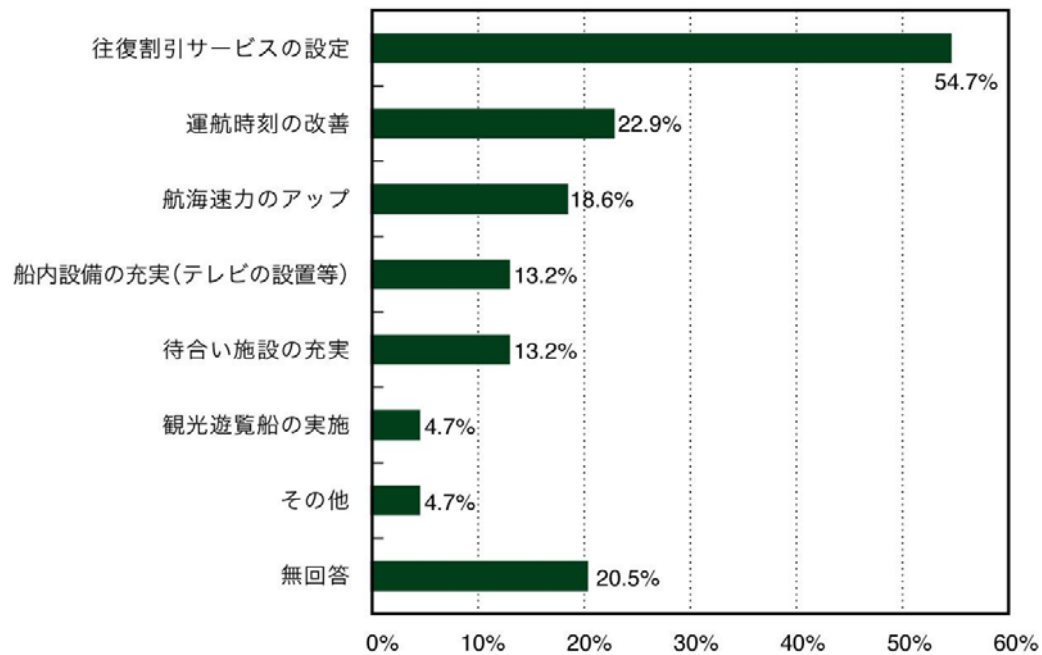
【航路利用者の内訳】



(4) 獅子島航路利用者のニーズ ☆「往復割引サービスの設定」が過半を占める

長島～獅子島～天草航路において、利用者の航路に対する要望をみると、「往復割引サービスの設定」が 54.7%で最も多く、次いで「運航時刻の改善」(22.9%)「航海速力のアップ」(18.6%)となっている。

【航路に対する要望 N=258・複数回答】



3 獅子島航路と結ぶ二次アクセスの現状と課題

(1) 獅子島航路と獅子島巡回バスのアクセス状況

①獅子島巡回バスの概要

獅子島航路と接続する島内の公共交通としては獅子島巡回バス（自家用有償運送）がある。これは、長島町が運営主体となり車両を保有し、運行を獅子島住民に委託して平成 19 年 3 月に開始されたもので、自家用車を所有しない高齢者の移動手段として、また、「獅子島～水俣」間の航路を利用する通院者や買い物客の有効な移動手段として活用されている。

バスの運行は、火・木・土曜日の週 3 日（日、祝日、年末年始は運休）で、車両は火曜日が長島町の公用車、木曜日、土曜日は獅子島へき地診療所のバスを使用している。また、バスの時刻も獅子島～水俣航路に合わせたもので、片側～幣串～湯ノ口間の住民の利用が多い。

利用者数は平成 20 年度 2,589 人。過去の推移をみると、18 年度 3,155 人、19 年度 2,914 人と減少傾向にある。

【獅子島巡回バスの概要】

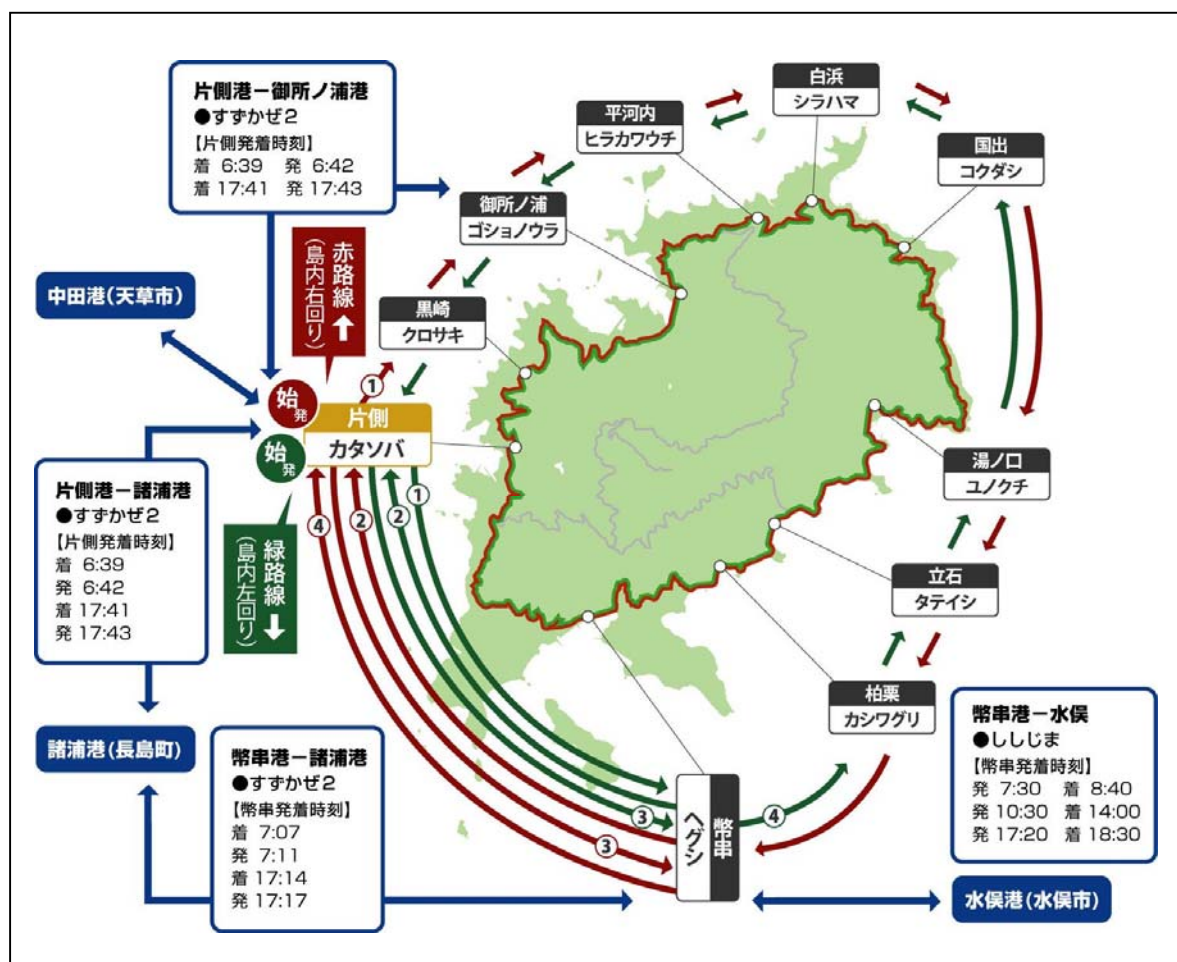
	内 容
運行状況	火・木・土曜日の週 3 回運行（祝日、年末年始は運休）
乗車料金	100 円
その他関連事項	自家用有償運送の種別（市町村有償運送：交通空白輸送） 獅子島へき地診療所は火曜日、金曜日に開かれ、送迎バスを運行

資料：長島町、以下同じ

【獅子島巡回バスのバスダイヤ】

片側	黒崎	御所ノ浦	平河内	白浜	国出	湯ノ口	立石	柏栗	幣串	片側
5分	5分	6分	2分	1分	11分	4分	2分	6分	8分	
6:30	6:35	6:40	6:46	6:48	6:49	7:00	7:04	7:06	7:12	7:20
										→
										7:30 7:20
										←
										7:30 7:40
										→
9:20	9:25	9:30	9:36	9:38	9:39	9:50	9:54	9:56	10:02	10:10
										→
										10:20 10:10
										←
										10:20 10:30
										→
										14:00 13:50
										←
										14:00 14:10
										→
15:00	14:55	14:50	14:44	14:42	14:41	14:30	14:26	14:24	14:18	14:10
										←
16:32	16:27	16:22	16:16	16:14	16:13	16:02	15:58	15:56	15:50	15:40
										←

【獅子島巡回バスの路線図】



(2) 獅子島航路と獅子島巡回バスのアクセス状況

①片側港におけるアクセス状況

時刻表から、片側港における獅子島航路と獅子島巡回バスとのアクセス状況をみると、フェリー「ロザリオ」では、中田港行きの朝 1 便や 14:00~15:00 ごろの発着便など一部の便において、バスとの待ち時間が 20 分程度に設定されている。しかし、その他の便では、待ち時間が非常に長い、あるいは乗り継げるバスがないなど、利便性に配慮した時刻設定にはなっていない。

同じく「すずかぜ 2」では、朝 1 便に乗船する際や最終便から下船した際に、乗り継げるバスが運行されていない。また、朝 1 便から下船した際や最終便に乗車する際に乗り継げるバスは運行されているものの、待ち時間が非常に長い設定となっている。

また、バス停の位置も獅子島診療所にあるため、船を降りて片側のバス停まで距離があり、改善が必要である。

【フェリー「ロザリオ」と獅子島巡回バスのアクセス状況】

乗合バス	待ち時間	フェリーロザリオ			待ち時間	乗合バス
到着		出発	行先	到着		発車
						◎ 6:30
×		6:45	諸浦港			7:20
◎ 7:20	15	7:35	中田港	7:30		×
7:40	65	8:45	諸浦港	8:40	40	◎ 9:20
×		9:40	中田港	9:35	35	10:10
◎ 10:10	85	11:35	中田港	11:30		×
10:30	65					×
×		12:45	諸浦港	12:40	70	13:50
					90	◎ 14:10
14:10	20	14:30	諸浦港	14:20		×
◎ 15:00	20	15:20	中田港	15:15	25	◎ 15:40
◎ 16:32	88	18:00	諸浦港	17:55		×
				18:45		×

注：◎は、御所ノ浦経由（島内右回り）の便となっている。以降同様

資料：長島町 以降同様

【「すずかぜ 2」と獅子島巡回バスのアクセス状況】

乗合バス	待ち時間	すずかぜ2			待ち時間	乗合バス
到着		出発	行先	到着		発車
×		6:42	諸浦港	6:39	41	7:20
◎ 16:32	71	17:43	御所ノ浦港	17:41		×

②幣串港におけるアクセス状況

時刻表から、幣串港における獅子島航路と獅子島巡回バスのアクセス状況をみると、「ししま」では、水俣港行きの朝 1 便、2 便、また、水俣港からの 14:00 着の便において、バスとの待ち時間が短く設定されており、アクセス性が高くなっている。そのため、通院等で「ししま」を利用して水俣方面へ行く際、港への移動手段とし獅子島巡回バスの利便性が高くなっている。

また、「すずかぜ 2」では、朝 1 便から下船した際のバスの待ち時間が 5 分と短く設定されている一方で、同便に乗船できるバスは運行されていない。最終便においては、乗船する際に利用可能なバスは運行されているものの、待ち時間は 87 分と非常に長く、下船した際のバスにおいては運行されていない。

【「ししま」と獅子島巡回バスのアクセス状況】

乗合バス 到着	待ち 時間	ししま			待ち 時間	乗合バス 発車
		出発	行先	到着		
◎ 7:12	18	7:30	水俣港			◎ 7:12
7:30	0		幣串港	8:40	82	◎ 10:02
◎ 10:02	28	10:30	水俣港			10:20
10:20	10		幣串港	14:00	0	14:00
14:00					18	◎ 14:18
◎ 14:18						◎ 15:50
◎ 15:50	90	17:20	水俣港			×
			幣串港	18:30		

【「すずかぜ 2」と獅子島巡回バスのアクセス状況】

乗合バス 到着	待ち 時間	すずかぜ 2			待ち 時間	乗合バス 発車
		出発	行先	到着		
×		7:11	諸浦港	7:07	5	◎ 7:12
◎ 15:50	87	17:17	諸浦港	17:14		×

■ 獅子島航路と獅子島巡回バスのアクセス状況における課題

1. 航路と巡回バスとの接続改善

- ・バスの時刻は幣串港発着の獅子島～水俣港路に設定されている。
- ・運航本数の多い長島～獅子島～天草航路との接続は悪い。
- ・運行日が少ない（住民からは火曜日、金曜日にも運行して欲しいとの要望があり）。
- ・片側～幣串～湯ノ口の住民利用が多く、御所ノ浦方面の住民の利用は少ない。

2. バス停の追加

- ・片側地区のバス停は、集落内の獅子島へき地診療所にあり、航路利用者は利用しにくい場所にある。航路利用者の乗り継ぎを考えた場合、新しく建設された片側港待合所にバス停を追加し、利便性を高めることが課題である。

(3) 獅子島航路と島外公共交通のアクセス状況

① 諸浦港におけるアクセス状況

時刻表から、諸浦港（長島本島）における獅子島航路と巡回バス「長島マンダリン号」のアクセス状況をみると、フェリー「ロザリオ」では15時以降の便を除くと、待ち時間が概ね20分以内に設定されており、利便性に配慮された時刻設定となっている。

また、「すずかぜ2」では、6便の接続に対し、3便は20分以内に設定されているが、残りの3便には接続便が設定されていない。

【諸浦港における獅子島航路と巡回バス「長島マンダリン号」のアクセス状況】

○フェリーロザリオとのアクセス状況

長島マンダリン号		待ち時間 (分)	フェリーロザリオ			待ち時間 (分)	長島マンダリン号	
出発地	到着		出発	行先	到着		発車	行先
平尾(1便)	7:08	2	7:10	片側港	中田港	7:05	4	7:09 葛輪棧橋(1便)
						23	7:28	平尾(1便)
葛輪棧橋(1便)	7:27	108	9:15	片側港	中田港	9:05	×	
東泉望(3便)	11:03	7	11:10	片側港	中田港	10:55	9	11:04 葛輪棧橋(3便)
葛輪棧橋(4便)	13:04	6	13:10	⇒	中田港	13:05	0	13:05 神社入口(4便)
平尾(2便)	14:47	8	14:55	片側港	中田港	14:50	1	14:51 葛輪棧橋(2便)
						23	15:13	平尾(1便)
葛輪棧橋(1便)	15:12	93	16:45	⇒	中田港	16:30	34	17:04 ゲート前(4便)
平尾(1便)	17:00	85	18:25	片側港		18:20	×	

○すずかぜ2とのアクセス状況

長島マンダリン号		待ち時間 (分)	すずかぜ2			待ち時間 (分)	長島マンダリン号	
出発地	到着		出発	行先	到着		発車	行先
	×		6:55	幣串港	6:52	17	7:09	葛輪棧橋(1便)
					7:23	5	7:28	平尾(1便)
平尾(1便)	17:00	2	17:02	幣串港				
	×		17:31	片側港	17:29		×	

②中田港におけるアクセス状況

時刻表から、中田港（天草市）における獅子島航路（フェリーロザリオ）と産交バスのアクセス状況をみると、待ち時間 20 分以内で乗り継ぐことができる設定になっているのは 2 便しかなく、その他の便は待ち時間が長く設定されているか、あるいは接続されていない便もみられるなど利便性に配慮した時刻設定にはなっていない状況がうかがえる。

【中田港における獅子島航路と路線バスのアクセス状況】

産交バス 到着	待ち時間 (分)	フェリーロザリオ			待ち時間 (分)	産交バス	
		出発	行先	到着		発車	行先
7:34	36	8:10	片側港 諸浦港	8:05	109	9:54	本渡
9:54	26	10:20	⇒ 諸浦港	10:10		×	
×		12:10	片側港 諸浦港	12:05	99	13:44	深海
13:44	6	13:50	片側港 諸浦港	13:45	74	14:59	本渡
14:59	56	15:55	⇒ 諸浦港	15:50		×	
×		17:25	片側港 諸浦港	17:20	19	17:39	深海

③水俣港におけるアクセス状況

時刻表から、水俣港（水俣市）における獅子島航路（ししじま）と産交バスのアクセス状況をみると、幣串港行きの 1 便以外はすべてスムーズなアクセスが可能な時刻設定となっている。なお、幣串港行きの 1 便に接続する路線バスは設定されていない。

【水俣港における獅子島航路と路線バスのアクセス状況】

産交バス 到着	待ち時間 (分)	ししじま			待ち時間 (分)	産交バス	
		出発	行先	到着		発車	行先
×		8:10	幣串港	8:00	7	8:07	平国
13:23	7	13:30	幣串港	11:00	5	11:05	平国
17:56	4	18:00	幣串港	17:50	10	18:00	佐敷車庫

④九州新幹線とのアクセス状況

獅子島から九州新幹線へのアクセス状況を把握するため、幣串港から水俣港を経て新水俣駅までの接続の状況をみると、幣串港発の 3 便とも新水俣駅で九州新幹線の上り・下りの両便に 30 分以内で乗継ことができるように設定されている。

因みに、幣串港を 7:30 に出発すると博多駅に 10:50、鹿児島中央駅に 9:04 にそれぞれ到着することが可能である。また、料金（大人片道）は、博多駅まで 8,140 円、鹿児島中央駅まで 5,040 円かかる。

一方、福岡市や鹿児島市から獅子島へのアクセスについてみると、福岡市からは博多駅を 15:30 に出発すると比較的スムーズに乗継が可能となっており、幣串港に 3 時間後の 18:30 に到着することができる。また、鹿児島市からは鹿児島中央駅を 12:14 に出発すると新水俣駅での乗継時間が 18 分となり、幣串港に 1 時間 46 分後の 14:00 に到着することが可能とな

っている。

なお、獅子島から幣串港を 7 : 30 に出発すれば、博多駅に 10 : 50 に到着し、4 時間 40 分後の 15 : 30 に再び博多駅を出発すれば、幣串港に 18 : 30 に着くことが可能であり、福岡市への日帰りも可能となっている。

【獅子島航路・路線バス・九州新幹線へのアクセス状況】

○獅子島⇒水俣市⇒福岡市・鹿児島市の場合

港・駅	幣串港	水俣港		新水俣駅		博多駅	鹿児島中央駅
	出発	到着	出発	到着	出発		到着
					上り	下り	
①	7:30	8:00	8:07	8:27	8:46	→	10:50
						8:32	→ 9:04
②	10:30	11:00	11:05	11:25	11:51	→	13:50
						11:30	→ 12:02
③	17:20	17:50	18:00	18:20	18:47	→	20:52
						18:31	→ 19:03
移動手段	獅子島汽船		産交バス		九州新幹線		
所要時間	30分		20分		約2時間		32分
料金(片道)	1,300円		290円		6,550円		3,450円

※九州新幹線の料金は、運賃と自由席特急券の料金。

○福岡市⇒水俣市⇒獅子島の場合

駅・港	博多駅	新水俣駅		水俣港		幣串港
	出発	到着	出発	到着	出発	到着
①	10:31	12:30	13:05	13:23	13:30	14:00
②	15:30	17:30	17:40	17:56	18:00	18:30

○鹿児島市⇒水俣市⇒獅子島の場合

駅・港	鹿児島中央駅	新水俣駅		水俣港		幣串港
	出発	到着	出発	到着	出発	到着
①	12:14	12:47	13:05	13:23	13:30	14:00
②	16:14	16:47	17:40	17:56	18:00	18:30

資料：獅子島汽船資料、産交バス・JR九州のHPより作成

■ 獅子島航路と島外公共交通のアクセス状況における課題

1 航路とバスとの接続改善

- ・時間帯によって接続が上手くいっていないケースがみられ、その接続改善に取り組む必要がある。

2 九州新幹線の新ダイヤに合わせたアクセスの改善

- ・獅子島～水俣航路と路線バス・九州新幹線（新水俣駅）の接続は概ね接続されている。今後は平成 23 年春に開業する九州新幹線のダイヤに合わせる事が重要である。

4 獅子島における地域間交流及び広域観光交流における航路の利用促進

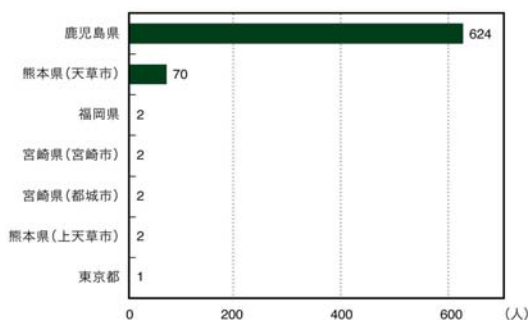
(1) 獅子島最大の地域イベント「獅子島ウォーク」

獅子島における地域間交流及び広域観光交流事業として、獅子島ウォークが毎年2月に開催されている。獅子島ウォークは、島内で開催される最大の地域イベントであり、「ウォーキングを通じて、健康増進、都市と獅子島住民の交流の促進、さらには獅子島の自然・食を堪能してもらう」ことを目的としている。第8回目となった平成22年の獅子島ウォーク2010は、2月7日（日曜日）に開催され、703人（うち長島町以外の参加者は650人）の参加があった。

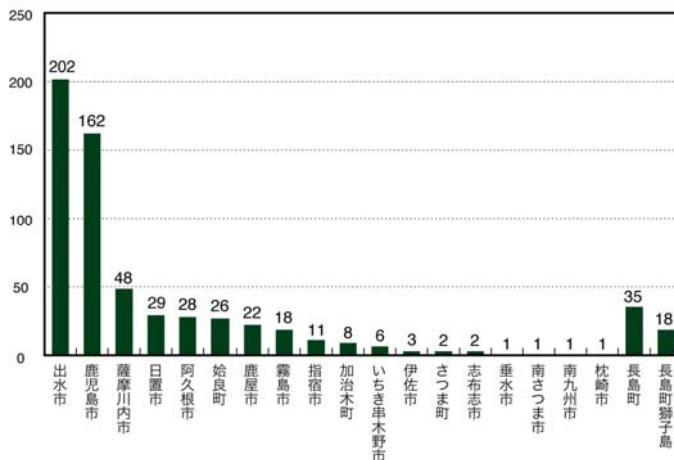
参加者の居住地については、鹿児島県が624人で全体の88.8%を占め、次いで熊本県（天草市）70人、同11.2%となっている。また、県内参加者の詳細をみると、出水市202人で最も多く、次いで鹿児島市162人となっており、出水市・鹿児島市からの参加者が全体の6割を占めている。

同イベントでは、獅子島住民が郷土料理の提供や、参加者への応援などのボランティア活動に積極的に参加し、大会を盛り上げるなど、地域間交流を促す貴重なイベントとして定着している。新聞で募集記事を掲載すると、掲載当日の受付開始2～3時間で定員に達するなど、参加者の期待度、満足度の高いイベントで、リピーターの割合が高い。ちなみに平成22年の調査では約6割が獅子島への訪問回数が2回以上のリピーターで、平成20年の獅子島ウォーク2008に比べその割合は高まっている。

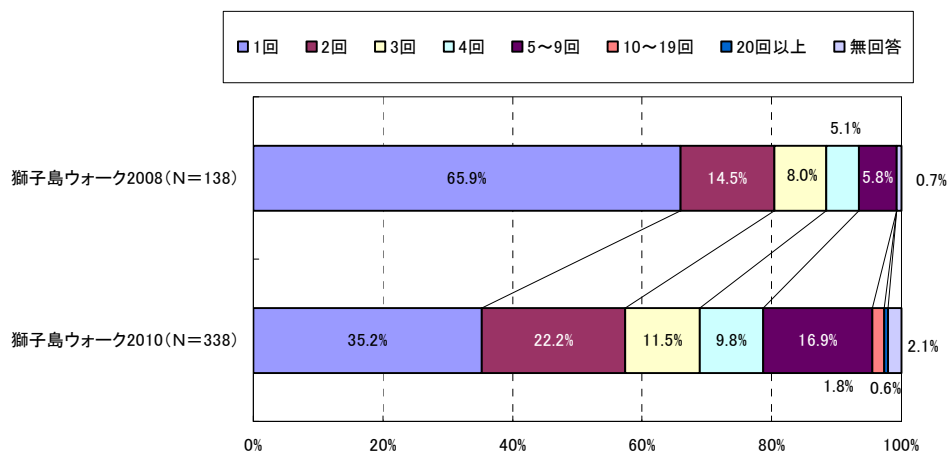
【参加者の居住地】



【鹿児島県参加者の詳細】



【獅子島への訪問回数】



（２）地域イベントにおける獅子島航路の利用促進

獅子島ウォークでは、運営面から長島町及び天草市方面からの参加に限定され、水俣市方面からの参加者は皆無であった。これは、幣串港から獅子島ウォークの会場である片側港までの移動手段の確保が難しいこと、係員の配置が難しいこと等から、水俣方面からの案内をあえて行わなかったことが要因と考えられる。

そこで、平成 21 年度の調査事業では、獅子島ウォークの当日に一般募集とは別に九州新幹線を利用し、水俣港から獅子島へ渡るモニターツアー実施した。指宿ウォーキング協会のメンバーを対象に参加者を募集し、九州新幹線、タクシー、獅子島航路・海上タクシーを乗り継いで獅子島ウォークに参加する企画であったが、新たなルートとして利用が可能なが確認された。

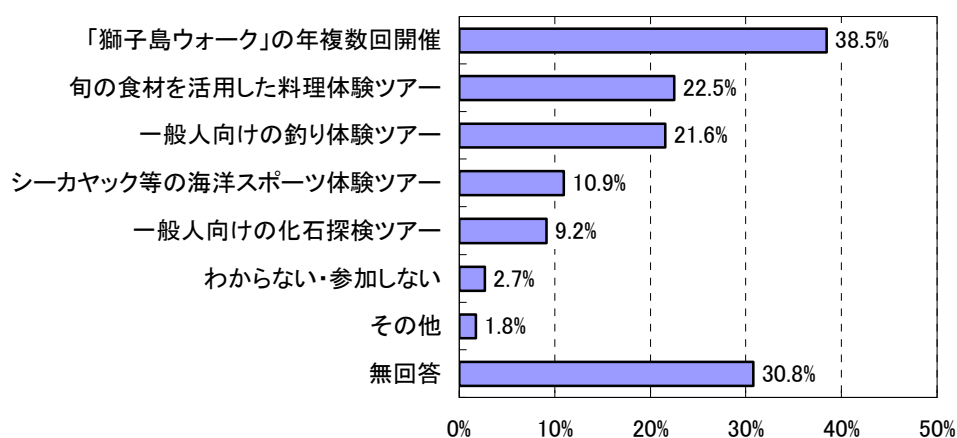
獅子島ウォーク参加者の中には、「獅子島ウォークの年複数回開催」「旬の食材を活用した料理体験ツアー」「一般向けの釣り体験ツアー」といったイベントへの参加を希望する向きがみられる。そこで、今後のイベント企画では水俣港からの集客を検討する必要がある。

さらに、長島町、天草市、水俣市では年間を通じて多様なイベントが開催されており、その移動手段として獅子島航路のPRを行い、航路の利用促進に結びつけていく取り組みが望まれる。

【指宿ウォーキング協会メンバーによる九州新幹線を活用した獅子島ウォーク参加の行程】

鹿児島中央駅	九州 新幹線	新水俣駅	タクシー	水俣港	旅客船 ししま	幣串港	海上 タクシー	片側港
7:18 発	⇒	7:52 着	⇒	8:10 発	⇒	8:40 着	⇒	9:00 着
19:03 着	←	18:31 発	←	17:50 着	←	17:20 発	←	17:00 発

【今後、獅子島において参加を希望するイベント N=338・複数回答】



長島町・水俣市・天草市におけるイベントは下表にあるように年間を通じて開催され、その内容も多彩であり、参加者は多い。したがって、イベント参加者に航路情報を適切に発信するとともにケースに応じて臨時便を運航し、航路利用の促進につなげていく必要がある。そのことにより地域間の相互交流が活性化され、新たな航路需要の創出が期待される。

【長島町・水俣市・天草市における主要なイベント一覧】

	長島町	水俣市	天草市
1 月	すいせんウォーク	熊日三太郎駅伝競走大会 ふくろ甘夏元旦マラソン大会	倉岳えびすマラソン大会えびす祭 夕陽観賞クルーズ くすば菜の花フェスタウォークラリー
2 月	獅子島ウォーク	久木野しし鍋マラソン大会	すいせん祭 天草ロードレース大会
3 月		サラたまちゃん祭 湯の児花見船	あったか天草椿祭
4 月		みなまた春祭	牛深ハイヤ祭 倉岳キス釣り選手権大会 竜洞山健康ウォーク
5 月	カヌー長島海峡横断大会	RKK みなまた未来コンサート「海恋物語」 みなまた港フェスタ・物産展 湯の鶴ウォークラリー	天草西海岸「春の陶器市」 ジャガジャガ祭 下田温泉祭 天草国際トライアスロン大会 天草花しょうぶ祭(～6 月)
6 月			海ほたるの観察会 干潟の観察会
7 月		恋龍祭 市民競り舟大会	観光タコ釣り大会(～9 月) さざ波フェスタ いさり火探検 砂月海水浴場祭 天神山祭
8 月		湯の児海上花火大会 湯の鶴温泉鈴虫祭	天草ほんどハイヤ祭 教会の見える崎津みなとのフェスティバル 苓北じゃっと祭 牛深伊勢えび祭 われは海の子 in あまくさ
9 月		湯の児「女だけの太刀魚釣り大会」	秋の天草アワビまつり(～11 月) 空の日フェスタ in 天草空港 天草五橋祭 倉岳えびす鯛釣り選手権大会
10 月	めぐり愛ウェディング 長島古墳祭 ながしま造形美術展(～11 月)	中尾山コスモス祭 みなまたエコタウンフェスタ	お魚釣りING大会 天草西海岸「秋の陶芸まつり」 倉岳・棚底探検ウォーク
11 月	長島一周駅伝競走大会 お魚祭 マンダリン旗争奪少年剣道大会 長島トライジョギング大会	はぜのき祭	海上コテージ釣り大会 あまくさ本渡ん井井フェア(～3 月) 御所浦ぶっきんまつり(～3 月) オコゼまつり(～3 月) うちわ海老まつり＆ふぐまつり(～3 月) 五足の靴ウォークラリー大会 牛深ワンわんウォーキング しんわ楊貴妃祭 天草マラソン大会 天竺・天の川西遊記登山
12 月	長島フェスタ		ほかほか南蛮フェア(～3 月) 牛深あかね市 牛深海中公園マラソン大会 大江冬祭

資料：長島町HP、水俣市HP、天草市HP、(社)天草宝島観光協会HP

5 獅子島航路の課題

地域公共交通を取り巻く環境や獅子島航路の現状と課題等を踏まえ、獅子島航路の活性化・再生に向けた課題として以下があげられる。

(1) 地域の実情に合わせた航路の運航方法の見直し

人口の減少が進むなか、地域の実情に合わせ獅子島航路の運航方法を見直し、地域のニーズに配慮した利便性の高い運航を図ることが必要である。具体的には、片側港～幣串港間を航路で結ぶと片側港で長島、天草、水俣からの航路が全てつながることになり、獅子島住民の利便性向上、長島・天草・水俣間の広域移動を促進すると予想される。また、セット切符の発行等によりそのことをアピールする必要がある。

(2) 島内外の交通手段との効果的な連携

獅子島航路の二次交通である獅子島巡回バスや長島マンダリン号などの島外のバスと航路の乗り継ぎをスムーズにするなど、島内外の交通手段との連携を高めることで、獅子島航路の利便性を向上させることが必要である。特に獅子島巡回バスは水俣方面の移動に合わせて運行され、フェリーロザリオとの接続も不十分である。また、片側地区のバス停は獅子島へき地診療所にあり、片側港にはバス停がなく、巡回バスの運航情報が獅子島住民に周知されているとは言い難い状況にある。

さらに、獅子島において化石巡り等の散策を楽しむ際の手ごろな移動手段がなく、レンタサイクルの導入も検討する必要がある。

(3) 九州新幹線との接続改善

九州新幹線の全線開通を見据え、新水俣駅から獅子島航路へのアクセス性の向上を図る必要がある。また、新幹線の乗客を対象に、「新幹線から1時間で行ける島の旅」をアピールし、航路を利用して獅子島へ向かう仕掛けづくりを行なうなど、航路と新幹線との連携を高めることが必要である。

(4) 船舶の有効活用

旅客船「すずかぜ2」は朝夕のみ運航し、日中は停泊している。これまで釣り客の団体向けに遊漁船として利用された実績があり、不定期クルーズを運航するなど新たな運用方法を検討することで、船舶の有効活用を図ることが必要である。

(5) 船舶・待合所の機能性・快適性を高めることによる航路の魅力向上

専門家の現地調査において、フェリー「ロザリオ」の船体内外のリペイントや船内に地域の特産品販売所や情報コーナーを設置するなど、船舶の機能性・快適性を高め、航路の魅力向上を図ることの必要が指摘された。雲仙天草国立公園内を航行する船舶として、獅子島へのアプローチを促す船舶として魅力づくりが急がれる。

また、平成21年度に片側港、幣串港、御所ノ浦港の各待合所が新設された。これら待合所は、航路利用者にとって休憩や航路情報・地域情報の収集場所でもあり、待ち時間を有効に活用する拠点となるような魅力づくりが必要である。

(6) 航路の認知度向上

獅子島航路は、獅子島を経由して長島・天草・水俣を結ぶ航路であるが、航路の認知度は高くない。長島町のWEBサイトや港の航路案内板に獅子島～水俣航路の案内がなく、航路の運航情報や乗場の案内などの整備が急がれる。これまで「生活航路」ということで広く情報発信してこなかったことが要因と考えられる。今後、獅子島及びその周辺住民の利用促進や広域的な観光交流による航路利用を考えた場合、航路の認知度を向上させることは重要な課題である。

(7) 航路を支える組織づくり

獅子島航路の活性化・再生を図るには、長島町、天草市、水俣市の3市町を結ぶ広域エリア13万7千人の航路利用を促進するとともに、長島、天草、水俣を訪れる観光客等に獅子島航路の存在を周知し、地域連携を図ることにより航路利用者を確保し、健全で質の高い航路運営を目指す必要がある。そのためには、獅子島を囲む広域経済圏内の自治体や交通事業者だけでなく、住民や観光関係事業者などが参加し、地域で航路を支えていく体制づくりを進めていくことが重要である。また、獅子島を囲む広域経済圏内での地域間交流事業を実施し、獅子島航路を主要な移動手段として活用することが公共交通のネットワーク拡大につながると期待される。